

D3デスク 取扱説明書

この度は「D3デスク」をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり正しくお使いください。お読みいただいた後も、大切に保管してください。

1. 安全のために必ずお守りください

- 警告** この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容です。
- 注意** この表示は、取り扱いを誤った場合、「障害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

警告

- 廃棄する時は購入店にご相談下さい。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。
- 積み重ねて保管しないでください。倒れてけがをすることがあります。

注意

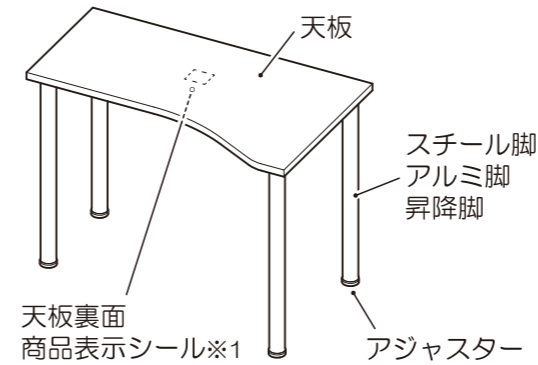
- お子様近くにいる環境では組み立てないでください。小さな部品を飲み込んだり、部品でけがをすることがあります。
- 添付の組立説明書にもとづいて、組立・設置をしてください。誤った組立・設置をすると、破損やけがをすることがあります。
- 火や熱器具のそばに近づけて設置しないでください。火災になることがあります。
- 異常を発見した場合は直ちに購入店へお申し付けください。そのまま使用すると壊れてけがをすることがあります。
- 乱暴な扱い方や用途以外で使わないでください。破損や故障、けがをすることがあります。
- 天板の固定は確実に行ってください。天板がはずれてけがをすることがあります。
- 移動する時は2人以上で持ち上げて行ってください。引きずると脚部が破損したり床面を傷つけることがあります。
- 天板の外周部に片寄って重いものを載せないでください。倒れてきてけがをすることがあります。
- 天板の上に腰掛けたり乗ったりしないでください。転倒したり壊れてけがをすることがあります。
- 天板の上には最大積載質量40kg（等分布質量）以上の物を載せないでください。壊れてけがをすることがあります。
- 設置の際は、本体の水平を保つようにアジャスターで調整してください。傾いた状態で設置すると、本体が倒れたり、のせているものが落下したりして、けがをすることがあります。
- アジャスター調整は対象物を支えて行ってください。倒れたり、手足をはさまれてけがをすることがあります。
- 床に傾斜や段差のある不安定な場所で使用しないでください。倒れてけがをすることがあります。
- 木製天板に直接金属や陶器などの硬いものを載せたり、ボールペン等、先の硬いもので筆記しないでください。傷がつくことがあります。
- 木製天板に直接熱いカップ等を置かないでください。表面に跡がつくことがあります。
- この製品は屋内用です。屋外で使用しないでください。故障や破損によりけがをすることがあります。
- 子供が遊具代わりにしないようにしてください。けがをすることがあります。
- 脱着可能な部品を乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤飲の可能性があります。
- 本機を第三者に譲渡または貸与するときは、取扱方法を十分に説明してください。

- 使用中ボルトやねじのゆるみが発見した場合は必ず増し締めを行なってください。そのまま使用すると壊れてけがをすることがあります。
- 完全に組み上がっていない状態で使用しないでください。破損や倒れてけがをすることがあります。
- 分解や改造をしないでください。破損やけがをすることがあります。

2. 健やかな空気質の確保のために換気励行のお願い

1. 製品購入時の注意事項
購入当初は、化学物質の発散が多いことがあります。暫くの間は、換気や通気を十分に行うよう心掛けてください。室内の換気が十分に行われないと室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。
2. 温度や湿度の変化による換気の励行
室内が著しく高温多湿になる場合（温度28℃、相対湿度50%超が目安）には、窓を閉め切らないようにするか、強制換気を行ってください。室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。

3. 各部の名称

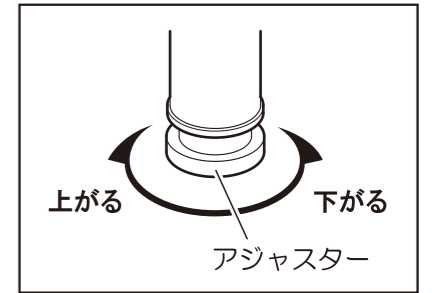


※1: 製品名(品番)、製造番号を表示

4. ご使用方法

アジャスターの調整

デスクの高さは本体下部のアジャスターにより調整できます。据え付けの際は、このアジャスターにより床面との水平を保つようお願いします。



- 注意** アジャスターは10mm以上伸ばさないでください。破損や倒れてけがをすることがあります。

5. 主な材質

天板	メラミン樹脂化粧板、パーティクルボード、MDF、ABS樹脂（縁材）
スチール脚（昇降脚含む）	鋼管塗装仕上げ、アルミダイキャスト
アルミ脚	アルミ管塗装仕上げ、アルミダイキャスト

6. ご使用上の注意

1. 直射日光・暖房器具などの高熱を避けてください。変色、変形することがあります。
2. 湿気の多いところには置かないでください。腐食、変形することがあります。
3. 濃い色の天板は使用状況や光の状況により、指紋等の汚れ、キズが目立つ場合があります。
4. 天板面やエッジ部に固いものを落としたり、ぶつけたりしないでください。天板面やエッジ部を破損することがあります。
5. 屋外や水のかかるところでは使用しないでください。サビや破損を引き起こす原因となります。
6. 本体を壁などの固いものにぶつけないようにしてください。本体や壁面などが破損、変形することがあります。
7. 水や飲料等をこぼした場合は、速やかに拭き取ってください。変色・変形することがあります。
8. 天板が白色の場合、光学マウスが正常に作動しない場合があります。正常に作動しない場合はマウスパッド（別売）をご使用ください。

7. お手入れ方法

1. 汚れを落とす場合は、から拭きするか固く絞ったぬれぞうきんなどで拭いてください。
2. 汚れのひどい場合には薄めた中性洗剤溶液で拭いてから固く絞ったぬれぞうきんなどで拭いてください。
ご注意：シンナー・アルコール等の使用は避けてください。変色・変形や塗装が剥がれる場合があります。

8. 製品の仕様に関するお問い合わせ先

製品の仕様に関するご質問は、各製品に貼付してあります商品表示シールの品番・製造番号をご確認の上、下記のカスタマーサービスにお寄せください。

ガラージお客様センター / ☎ 0120-331-753

受付時間 月曜日～金曜日 10:00～12:00
13:00～17:00
(土・日・祝日・年末年始・夏期休暇等は除く)

品質表示

外形寸法		高さ(標準脚) (昇降脚)	
品番	幅 奥行		
D3-A	1536mm×1061mm		
D3-B	1324mm×849mm		
D3-C	1324mm×849mm		
D3-D	1200mm×1000mm		
D3-E	1200mm×1000mm		
D3-H	1000mm×600mm	×715mm 645mm(795mm)	
D3-I	1000mm×600mm		
D3-J	980mm×635mm		
D3-L	1200mm×1200mm		
D3-M	1200mm×700mm		

- 甲板の表面材 合成樹脂化粧パーティクルボード(メラミン樹脂)
- 表面加工 エポキシ塗装(ヘアライン脚仕様)
ポリエステル塗装(ブラック脚仕様)
アルマイト(アルミ脚仕様)

取扱い上の注意

- ・直射日光又は暖房器具などの熱を避けてください。
- ・加熱したなべ、湯沸かしなどを直接置かないでください。

表示者 **プラス株式会社**
☎ 0120-331-753

D3デスク 組立説明書

組立方法（必ず二人以上で作業してください。）

- お子様が近くにいる環境では組み立てないでください。小さな部品を飲み込んだり、部品で怪我をすることがあります。
- 組立及び設置は、必ず組立説明書（本紙）にもとづいて行ってください。誤った組立はけがの原因となります。
- 組立前に、組立部材・組立部品・付属品をご確認ください。
- 作業は製品の表面をキズつけないよう、梱包箱を利用して行うか、毛布等のあてものを敷いて行ってください。



2人以上で組立

■組立部材・部品一覧

脚の本数は天板タイプ（形状）で異なります。
天板タイプは品番の「D3-□」で確認できます。
右記表を参考に脚の本数を確認してください。

A/B/C/Lタイプ	5本脚デスク
D/E/H/I/Mタイプ	4本脚デスク
Jタイプ	3本脚デスク



	① 天板	② 脚座	③ 脚	④ 止めネジ	⑤ 六角レンチ
	天板の形状はタイプによって異なります。		脚の形状はタイプによって異なります。	呼び4×20	
5本脚デスク	1枚	5個	5本	35個	1個 ※1
4本脚デスク	1枚	4個	4本	28個	1個 ※1
3本脚デスク	1枚	3個	3本	21個	1個 ※1

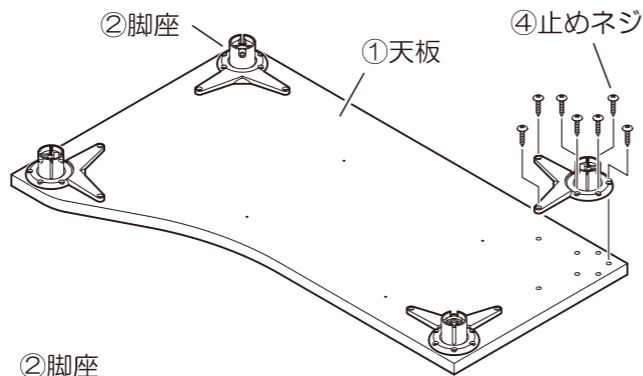
※1 六角レンチは脚1本に対し1個付属しています。

1. 脚座の取付



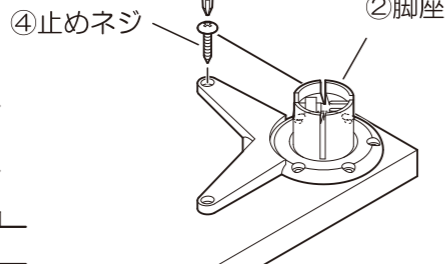
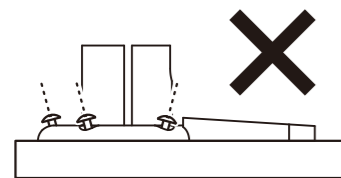
天板を裏返して組み立てます。
※天板がキズつかないよう、梱包箱を利用して行うか、毛布等のあてものを敷いて行ってください。

①天板裏面に②脚座を④止めネジで取り付けてください。
※脚座1個につき、止めネジ7本使用。



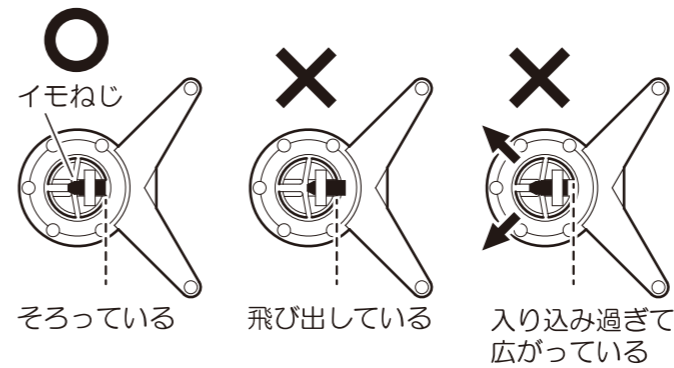
ネジを締めすぎないよう注意してください。

ネジはまっすぐ下へ締め込んでください。



2. 脚部の取付

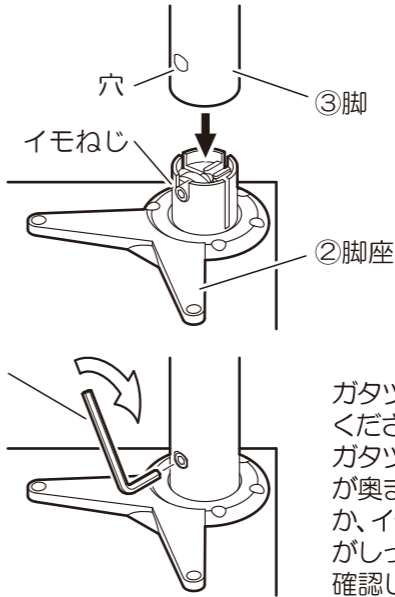
③脚を取り付ける前に②脚座のイモねじを適切な位置に調整してください。



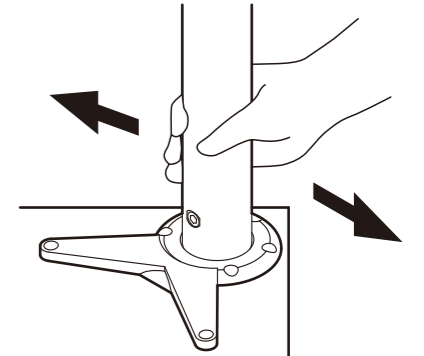
②脚座のイモねじと③脚の穴の位置を合わせて奥までしっかりはめ込んでください。

⑤六角レンチ

⑤六角レンチでイモねじを締め込んでください。
※イモねじはやや強めに締め込んでください



ガタツキが無いか確かめてください。
ガタツキがある場合は、脚が奥までとはめ込まれているか、イモねじや④止めネジがしっかり締まっているか確認してください。

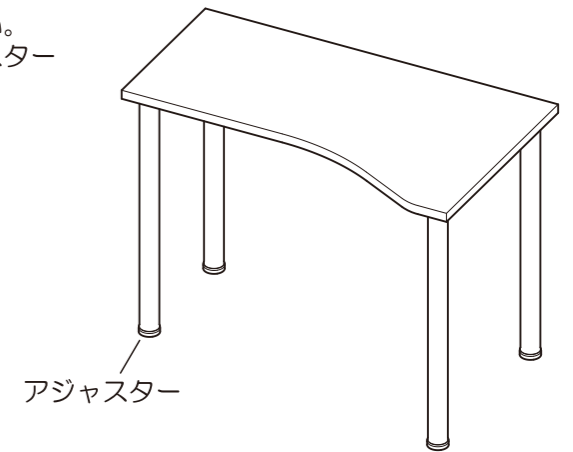
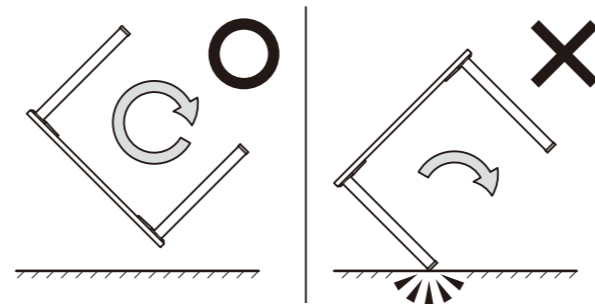


3. 設置とアジャスターの調整

デスク本体を上下ひっくり返して、所定の位置に設置してください。
床面の状態により、本体の傾きやガタつきがある場合は、アジャスター調整を行ってください。

⚠ 注意

テーブルをひっくり返す際は、必ず2人以上で作業して下さい。また、脚を支点にしてひっくり返さないでください。破損や変形、倒れてけがをすることがあります。



⚠ 注意

アジャスターは10mm以上伸ばさないでください。破損や倒れてけがをすることがあります。



DR-790ST脚の調整方法

この度は当社製品をお買いあげいただき誠にありがとうございます。
お求めいただいたテーブル脚は約150mmの高さ調整ができます。高さの調整はテーブルへ取り付ける前のほうが楽にできます。

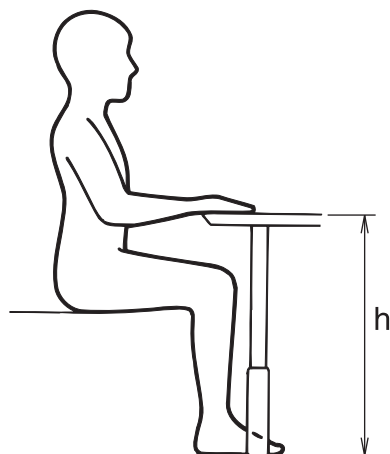
注意



- 調整の際はお子さまに注意し広い場所で行ってください。
- この説明書に従って調整してください。手順を間違えるとけがをしたり製品をこわしたりすることがあります。
- 調整の際、製品及び床などをキズつけないようご注意ください。

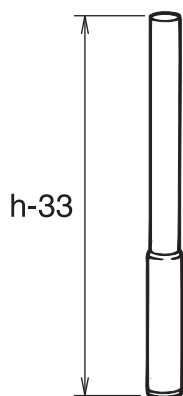
① 自分に合ったテーブル高さを知る

テーブルの高さは648mmから798mmまで調整できます。次の方法でご自分に合ったテーブル高さを求めてください。ここで求められるテーブル高さは主にコンピュータのキーボードを操作するのに適しています。筆記作業が主の場合は40mm程度高くすることをおすすめします。
平均的な体型をもとにした目安ですので個人差により高さが合わない場合もあります。実際にご使用になって確認してください。

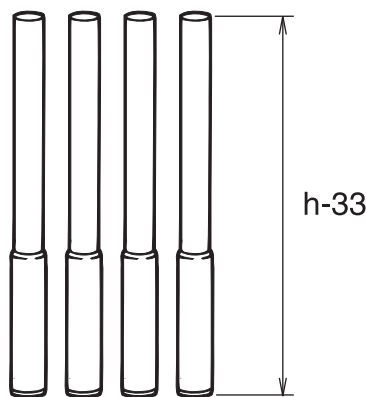


椅子に座ってテーブルの肩を楽にし、
ひじを90度に曲げた時の手のひらの高さ

② 脚の高さを調整する



低くなる ⇄ 高くなる



アジャスタを回して脚の高さを調整します。
希望の天板高から33mmを引いた高さに調整してください。
調整できる範囲は脚の長さで615から765です。

他の脚も最初に調整した脚と同じ長さに調整してください。



注意

765以上の長さにして使用しないでください。
テーブルがぐらついたり、脚が破損することがあります。